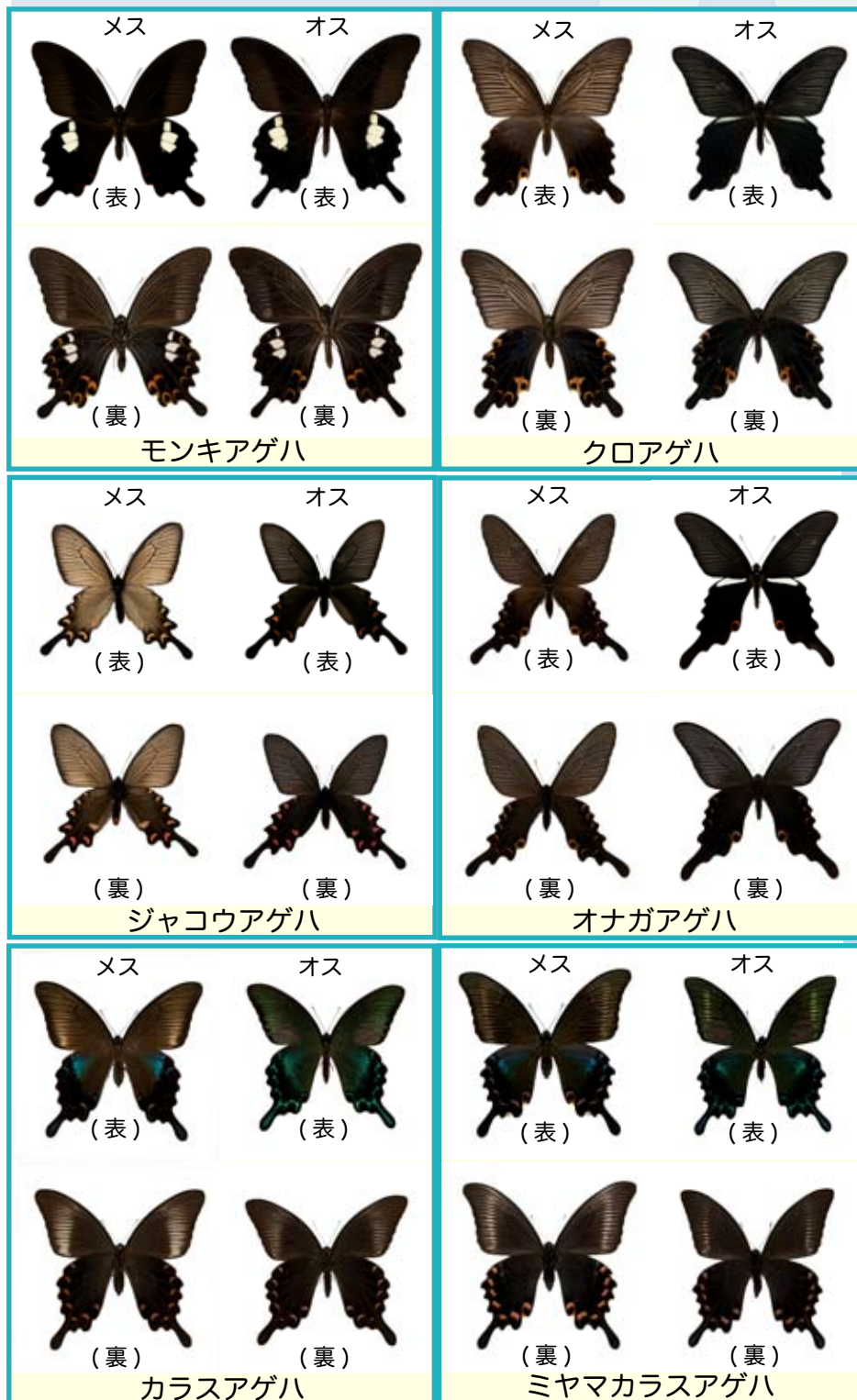


千葉県で見られる大型のアゲハチョウ7種の標本写真

千葉県で記録されているアゲハチョウは、平成12年に編冊された千葉県の自然誌によると、全部で11種類とされています。このうちアゲハ、キアゲハ、アオスジアゲハ、ミカドアゲハの4種類を除く7種類の大型で黒いアゲハチョウについて、標本写真を並べて比較してみました。



※標本の(表)は背側、(裏)は腹側になります。

ナガサキアゲハ
 前翅長：6～8cm
 時期：5～9月
 分布：本州(茨城県以南)・四国・九州・沖縄 南方種
 幼虫食樹：ミカン、ダイダイ、カラタチ

モンキアゲハ
 前翅長：5～7.5cm
 時期：5～9月 年2～3回発生
 分布：本州(関東以西)・四国・九州・沖縄 南方種
 幼虫食樹：カラスザンショウ

クロアゲハ
 前翅長：4.5～7cm
 時期：4～9月 年2～3回発生
 分布：本州・四国・九州・沖縄
 幼虫食樹：ミカン、カラタチ

ジャコウアゲハ
 前翅長：4.2～6cm
 時期：4月下旬～9月 年3回発生
 分布：本州(青森県を除く)・四国・九州・沖縄
 幼虫食樹：ウマノスズクサ

オナガアゲハ
 前翅長：4.7～6.8cm
 時期：5～8月 年2回発生
 分布：北海道・本州・四国・九州
 幼虫食樹：コクサギ、ザンショウ、カラスザンショウ、ツルシキミ

カラスアゲハ
 前翅長：4.5～8cm
 時期：5～9月 年1～2回発生
 分布：北海道・本州・四国・九州・沖縄
 幼虫食樹：コクサギ、ザンショウ、キハダ

ミヤマカラスアゲハ
 前翅長：3.8～7.5cm
 時期：5～9月 年2～3回発生
 分布：北海道・本州・四国・九州
 幼虫食樹：キハダ、カラスザンショウ、ハマセンダン



ナガサキアゲハとモンキアゲハ、クロアゲハ

ナガサキアゲハはこの7種類のアゲハチョウのうち、唯一尾状突起を持っていません。これは飛翔中であっても確認しやすい大きな特徴です。しかし、他のチョウが翅を痛めて尾状突起を失っている場合もあるので、その点を十分注意する必要があります。

ナガサキアゲハのメスはモンキアゲハ、クロアゲハのオスとメス両方によく似ています。尾状突起以外では、前翅の色、前翅の赤斑の位置、後翅の白斑の位置で見分けます。前翅の色が薄く、前翅の付け根に表裏両方とも赤い斑があり、後翅の白斑が翅を開いたときに内側によっているのがナガサキアゲハのメスです。モンキアゲハはオスメスいずれも前翅は色が濃く、前肢の付け根に赤い斑が無く、後翅の白斑は前端に寄っています。クロアゲハは前翅の付け根の赤い斑がなく、後翅の白斑がありません。後翅の表側前端は白くなっています。

ナガサキアゲハのオスは真っ黒なチョウで、やはりクロアゲハ、モンキアゲハに似ています。尾状突起が無いこと、裏側前後翅の付け根に赤い斑紋があることで見分けます。

ジャコウアゲハとオナガアゲハ

ジャコウアゲハとオナガアゲハはもともと族が違います。ジャコウアゲハはジャコウアゲハ族、オナガアゲハはアゲハチョウ族に含まれます。ジャコウアゲハは体内に毒を持っていて、そのことを知っている鳥はこのチョウを食べようとはしません。オナガアゲハは毒は持っていませんが、外敵から身を守るために、ジャコウアゲハに擬態していると言われています。これら2種類のアゲハチョウは他の5種に比べて翅がやや細長いことも特徴です。

カラスアゲハとミヤマカラスアゲハ

どちらのチョウも全体に黒っぽく、クロアゲハに似ていますが、表面の翅の色が緑色や青色に輝いて見えます。ミヤマカラスアゲハの方が、カラスアゲハより緑色の輝きが強いとされています。



これからの季節報告

- ◎アカガエル類 (産卵)
- ◎アズマヒキガエル (産卵)
- ◎トウキョウサンショウウオ (産卵)
- ◎ウメ (開花)
- ◎ウグイス (初鳴き)

報告トピックス

◎越冬中のムラサキツバメ



撮影：望月正樹



撮影：望月正樹

ムラサキツバメと言えば、地球温暖化の影響を受けて、近年千葉県でも定着が確認された、暖地性のシジミチョウの仲間です。幼虫はブナ科のマテバシイの萌芽を食餌とするため、マテバシイが公園、道路、工業地帯の緑地帯の植栽樹木を始め、植生の豊富な千葉県内において、越冬が可能であれば定着は容易だと考えられます。

上の写真は2枚とも富津市の団員から寄せられたものです。発見は12月上旬ですが、寒い日は下段の写真の様に翅を閉じ、寄り添って過ごし、暖かい日は上段の写真の様に紫色の綺麗な翅を広げて暖をとっているそうです。この翅の色と後翅の小さな尾状突起(燕尾)から、ムラサキツバメと呼ばれています。

下段の写真の群れは翅を傾けて隙間を少なくしています。チョウはまっすぐに翅を立てて止まるのが普通ですが、当然、何か目的があってしていることなのでしょう。不思議ですね。



イチョウの黄葉について

イチョウの黄葉の報告は全部で36件ありました。右にグーグルマップを使って黄葉時期を5段階に色分けした分布図を示しました。

銚子地方気象台で発表した2008年のイチョウの黄葉日は11月30日でした。ちなみに2007年は11月27日、過去30年の平均は12月5日となっています。

イチョウについては落葉日も発表されていますが、そちらの方は2008年が12月18日、2007年が12月14日、過去の平均が12月13日でした。いずれも昨年は一昨年より少し遅く、黄葉から落葉までの期間は過去に比べて長くなってきたという状況です。

さて、黄葉時期の判断ですが、何人かの団員からも寄せられた通り、木によってかなり黄葉時期にずれがあること。青い葉を残しながら散ってしまう場合があること。など、いろいろ問題があったようです。心配していた株の性別の違いによる差は無かったようです。

最初にこれという木を決めて報告というお願いをしたのですが、近くに何本かの木がある場合は、その中で最初に黄葉した木を標準として報告していただく方が、地域差を比較する上ではよいのではないかと考えます。

カエデの紅葉について

カエデの報告は全部で14件でした。イチョウと同様に5段階に色分けしたマップを作成しました。イチョウに比べて報告数が少ないのは、公園や神社の境内、街路樹等、いろいろなところに植えられているイチョウに比べて、カエデは絶対数が少ないということなのでしょう。それと関係があるのか判りませんが、銚子地方気象台の報告にもカエデは含まれていません。また、青い葉を残しながら散り始めるという、イチョウと同じ問題もあったようです。

カエデの紅葉で気になったのは、近くに他の木があるとその木の葉と接触する枝はなかなか紅葉しないことです。標準木に選ぶ木は、できるだけ周りの木から離れたものを探する必要があります。

ビワの開花について

2008年ビワ開花マップ

11月10-20日 21-30日 12月1-10日 11-20日 21-30日



ビワの初咲き報告はさらに少なく、全部で13件でした。

気にして探してみると、意外に木の数は多いような気がします。ただ、花は目立たないのでつい見過ごしてしまいそうです。

初報告が11月10日、最終報告が12月25日と、実に1ヶ月半の開きがありました。また、最終報告の場所が、比較的温暖な富津市というのも予想外でした。

開花を判断するタイミングですが、一本の木でも花の房(花序)によってかなり差があるようです。木全体で2~3の花序が開き始めたら報告してください。

2008年イチョウ黄葉マップ

11月7-15日 16-20日 21-25日 26-30日 12月1-3日



2008年カエデ紅葉マップ

11月22-26日 11月27日-12月1日 2-6日 7-11日 11-16日



powered by Google™

2008年にいただいた団員からの報告をGoogleMapを用いて、生き物ごとにまとめました。全てホームページから見る您可以通过。また、「生命(いのち)のにぎわい調査フォーラム」に参加された方には、当日資料としてお配りいたします。

<http://www.bdcchiba.jp/monitor>



いのち 生命のにぎわい調査団

千葉県生物多様性センターからのお知らせ

生命のにぎわい調査団のフォーラムをセンター・博物館両主催で開催します。

「生命(いのち)のにぎわい調査フォーラム」

開催日時：平成21年1月31日(土) 13:00~16:00

開催場所：千葉県立中央博物館 講堂(最大収容人数200名)

事前登録：平成21年1月30日(金) 16:00まで

※調査団員および団員と一緒にフォーラムに参加される方は事前登録して下さい。当日は事前登録をされた方以外は団員以外の方を含めて先着順となります。登録はEメール、電話、FAX、郵便で受け付けます。団員IDと参加人数をお知らせください。

- 研修内容：a. 千葉県の生物多様性について
 b. 調査団の目的と平成20年の報告の状況
 c. 「動物を探そう」
 ~足跡・糞から見分けるイタチ・タヌキ・アライグマ中型肉食哺乳類~
 d. 意見交換会

※研修内容は変更の可能性があります。

千葉県立中央博物館からのお知らせ

2・3月の展示・行事 問合せ：千葉県立中央博物館 TEL 043-265-3111

ヒマラヤの神秘
20周年記念展示 「ブータンの自然と人々の暮らし」
 //
「中央博物館20年の歩み」
 2009年1月17日[土]~2月22日[日]

開館20周年記念シンポジウム 「自然系博物館のこれから！」

先進的な取り組みをしている全国の自然史系博物館の館長が一堂に会し、生涯学習機能とシンクタンク機能についてパネルディスカッションを行い、これからの自然系博物館のあり方について考えます。

日時：2月6日[金] 13:30~16:30 会場：講堂(当日先着200名、事前申込不要)

クモ・蜘蛛・くも -8本足の糸つむぎ職人-

クモは嫌われることが多い生きものですが、よく見るとかわいいものや美しいものがたくさんいます。また、糸という道具のおかげで多様な環境に進出した、興味深いグループでもあります。本展示では、様々な種類のクモの変化にとんだ姿とその暮らし方を紹介します。

2009年3月7日[土]~5月31日[日]

分館海の博物館(勝浦市吉尾) 問合せ：TEL 0470-76-1133

東洋のガラパゴスー小笠原諸島の海の生きものー

小笠原諸島は、ほかの陸地とつながったことのない亜熱帯の島々で、陸には独自の進化をとげた固有種が多く、海の中にも個性的な生きものがそろっています。この展示は、小笠原諸島の海に住む様々な生きものを、千葉県の海の生きものと比べつつ紹介します。

2009年2月21日[土]~5月10日[日]

2月中の生きものに関する講座・観察会

開催日	時間	講座・観察会名	講師	申込締切	会場	対象・定員	費用等
2/14(土)	10:00~12:00	顕微鏡で昆虫を覗いてみよう(子ども体験教室)	直海俊一郎	1/31	中央博物館 研修室	小学生以上(小学生保護者同伴) 15名	不要
2/22(日)	13:30~15:30	捕鯨の歴史(大人おすすめ講座)	高梨 俊夫	2/8	中央博物館 研修室	中学生以上 30名	不要
2/28(土)	13:30~16:00	花粉を見る・調べる(2回連続講座 次回3/7)(大人おすすめ講座)	奥田 昌明	2/14	中央博物館 研修室	中学生以上 5名	不要
2/28(土)	13:00~16:00	山の学校 59(早春の山の生きものを観察)	江口 誠一(ほか)	当日申込	君津市(清和県民の森)	どなたでも(小学生以下保護者同伴) 40名	保険料 50円

にぎわい調査団の状況

調査団員数は2009年1月15日現在で210名になりました。下の表は市町村別の団員数内訳です。

市町村	団員数	市町村	団員数	市町村	団員数
中央区	11	市原市	14	酒々井町	1
花見川区	9	流山市	1	印旛村	3
稲毛区	1	八千代市	3	本埜村	0
若葉区	7	我孫子市	7	栄町	1
緑区	14	鴨川市	1	神崎町	0
美浜区	6	鎌ヶ谷市	2	多古町	1
鎌子市	1	君津市	4	東庄町	0
市川市	12	富津市	4	大網白里町	2
船橋市	12	浦安市	1	九十九里町	1
館山市	1	四街道市	4	芝山町	0
木更津市	2	袖ヶ浦市	1	横芝光町	0
松戸市	6	八街市	3	一宮町	1
野田市	7	印西市	0	睦沢町	0
茂原市	2	白井市	0	長生村	6
成田市	8	富里市	1	白子町	0
佐倉市	11	南房総市	2	長柄町	0
東金市	5	匝瑳市	1	長南町	1
旭市	1	香取市	8	大多喜町	0
習志野市	4	山武市	3	夷隅郡	1
柏市	5	いすみ市	3	御宿町	1
勝浦市	2	東京都区部	1	鋸南町	0
				神奈川県川崎市	1
				合計	210

まだ調査団員が不在の市町村もあり、全体数も足りない状況です。お知り合いに生きものに興味のある方がおられたら、ぜひ入団を勧めてみてください。引き続きご協力のほど、よろしく申し上げます。

右の表は調査団員の年齢構成です。18歳から40歳までの年齢が少ないのは予想していましたが、もう少し18歳未満の人たちに参加してもらいたいですね。

年齢区分	団員数
18歳未満	31
18歳以上30歳未満	10
31歳以上40歳未満	16
41歳以上50歳未満	30
51歳以上60歳未満	55
61歳以上70歳未満	46
71歳以上	14
年令非公開	8
合計	210

にぎわい調査団のマニュアル完成

長らく「第0版」のままだったマニュアルですが、この度ようやく正式に印刷することができました。内容的には大きく違いませんが、今までのものよりずっと見やすくなります。

団員の皆様には1月31日の「にぎわい調査フォーラム」以降、お手元に郵送させていただきます。今しばらくお待ちください。新マニュアルのPDF版をホームページに掲載してあります。早めにご利用になりたい方はこちらをご覧ください。

<http://www.bdcchiba.jp/monitor/manual.pdf>

生命のにぎわい調査団マニュアル



千葉県生物多様性センター
 URL: <http://www.bdcchiba.jp/monitor/>

次号にぎわい通信は？

- ◎調査対象生物解説
ニホンアカガエル・ヤマアカガエル・タゴガエルの同定について
- ◎調査団からのお知らせ
調査団野外研修会の詳細情報
- ◎中央博物館からのお知らせ
・展示「クモ・蜘蛛・くも」-8本足の糸つむぎ職人-
・生きものに関する行事の紹介
etc. お楽しみに